ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

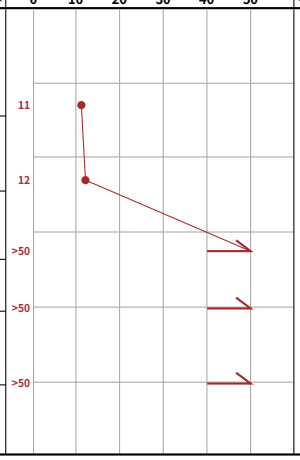
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3(測点No.16斜面上部)	調査位置				北　緯	36 ° 22 ' 26.8100 "
発 注 機 関	栃木県足利土木事務所　整備部		調査期間	2009-07-03 ～ 2009-07-06		東　経	139 ° 28 ' 10.1100 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人	コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者
孔 口 標 高	92.74 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °
総 掘 進 長	5.05 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	92.24	0.50	0.50		礫混じりシルト (M-G)	暗茶		軟らかい	崩積土 礫は径φ10～30mm程度混入 草根多い		
1 2					礫混じり粘土 (CH-G)	茶		硬い	礫は風化礫主体 礫は径φ10～50mm程度で所々に混入 2.60m付近から礫混入多くなる 含水比中位　粘性中～上位		
3	89.39	2.85	3.35		砂岩 (Ss)	暗灰			砂岩の弱風化部～比較的新鮮部 全体的に風化少ないが、割れ目がやや風化により褐色を呈す コアは全体的に密着し割れ目が比較的多い 3.35～3.60m間、弱風化しコア形状は礫状～片状 3.60m以深は片状主体で希に礫状な部位あり 割れ目は斜状が主体で3～5cm間隔 コア採取率95～100% RQD10%程度 岩級区分は「CL～CM」程度と判定		07/04
4 5	87.69	1.70	5.05								07/05

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	5	11／30	11
1.45					
2.15	3	4	5	12／30	12
2.45					
3.15	5	10	35／2	50／22	>50
3.37					
4.00	50／5			50／5	>50
4.05					
5.00	50／5			50／5	>50
5.05					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日